

平成30年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業 【実践事例レポート】

- 1 報告地区 : 檜山地区
- 2 事例報告学校名 : 厚沢部町立厚沢部小学校
- 3 報告者 : 校長 小 助 川 浩
- 4 キーワード : 学力向上のための授業力向上と校風づくり

1 はじめに

「世界一素敵で過疎の町づくり」を推奨する厚沢部町は、本校含めて小学校3校、中学校1校に児童生徒250名程が通学している。本校は、10学級（特別支援学級4）、児童114名の小規模校である。

今年度から学校力向上総合実践事業の実践指定校となり、町内小学校の2校が連携校となりスタートしたところである。また、「主体的に学び、人と関わり社会の担い手となる子ども」「たくましく生き他人を思いやる子ども」を〈地域と共にめざす子ども像〉として、学校運営協議会を組織し取組が始まったところである。

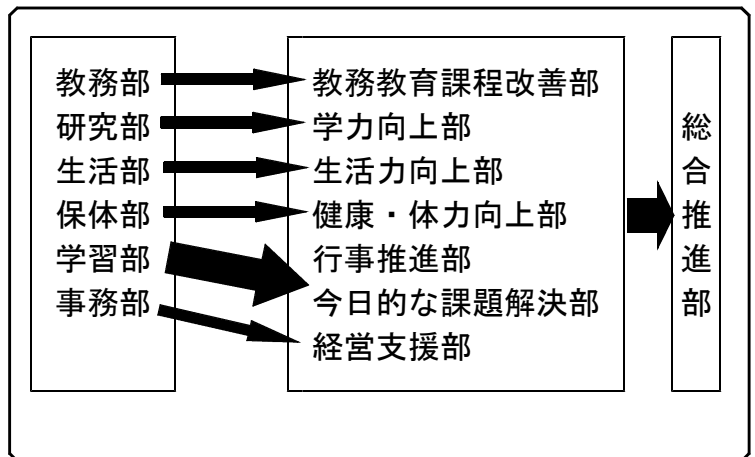
2 学校力向上の取組

(1) 目標達成型を目指した分掌組織

学校力向上事業推進の始めに、分掌組織を右記のように変えることで、何を目標とする分掌かを明確にした。

また、校長・教頭・分掌部長で構成する総合推進部を学校組織に位置付け、定期的に総合推進部を開催し、各部の推進状況の理解と今後の計画等について確認している。

取組を推進する中、他の業務へ移行した方がよい事項等、次年度に向けた課題も見えてきている。



(2) 学力向上の取組

学力向上部を中心に学校スタンダードを基盤とした授業改善他、毎週金曜日実施する放課後サポートや算数パワー作戦など、補充的学習を定期的に行っている。

① 授業スタイルの確立

学習調査結果の分析から明らかになった課題から「授業改善ポイント」を作成し、授業改善ポイントから4年生以上の各担任が学習ポイントを作成し、ポイントを意識した授業に取り組んでいる。

〈国語科・算数科の授業では〉

<p>国語科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習のてびきを活用した授業づくり</li> <li>・ 授業改善ポイント意識した授業</li> </ul>	<p>算数科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の流れの統一化（問題→課題→自力解決→まとめ→練習問題→振返）</li> <li>・ 問題からまとめ → 30分</li> <li>練習問題から振り返り → 15分</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**国語の学習ポイント【6年生】**

①条件に合わせて文章を書こう。  
(○字以内で、□□の言葉を使って)

②文章を引用したり、図や表を用いたりして、意見や感想を書こう。

③主語と述語の関係に注意して文章を書こう。

④目的に合わせて、複数の本や資料を選んで読み、活用しよう。

主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業改善に向けた取組

## ② 少人数指導

「個に応じた指導」を行き渡らせるための「習熟度別の指導」という考えを基本として、少人数指導を行っている。3年生までは「ステップ・ジャンプ」の2クラス、4年生以上は「ホップ・ステップ・ジャンプ」の3クラスに分かれるが、同じ授業の流れで進めている。



ホップコース



ステップコース



ジャンプコース

## (3) チームで高まり合う学校を目指して

重点取組事項に今年度新たに「自ら学び、互いに学び、チームで高まり合う学校」を加えた。チーム厚小として目指すのは、子どもたちの学力・体力・生活力の向上であり、学校全体で取り組んで成果と課題を考察することが大切となることから、1人の教員が20歩進むのではなく、20人が1歩ずつ進むことが重要と確認した。

具体的実践としては、実効性のあるテーマ別研修（右表、1回30分）、実効性のあるメンターチーム研修（年6回演習を中心に）。

### テーマ別研修及び予定

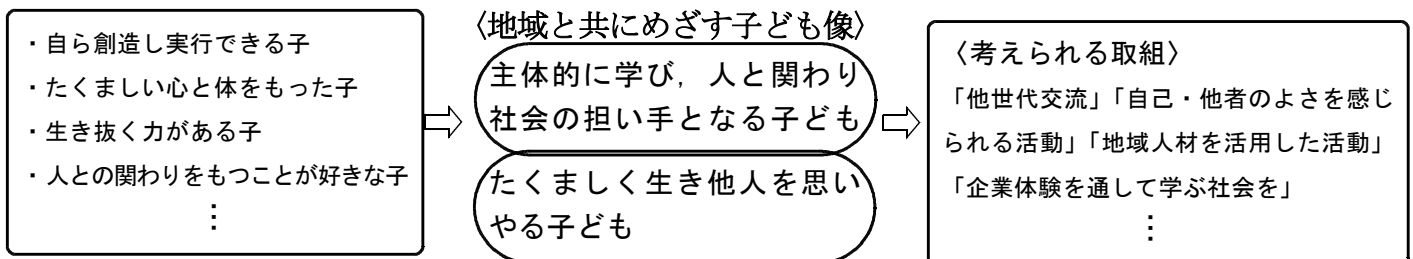
5月	全国学力・学習状況調査を活用した授業改善
6月	主体的・対話的で深い学び
7月	今、求められる授業の在り方
8月	つながりのある支援をめざして
9月	正しいラジオ体操
10月	外国語、外国語活動の授業づくり
11月	生活力向上部企画・運営
12月	経営支援部企画・運営
1月	連携校の館小学校企画・運営
2月	連携校の鶴小学校企画・運営

## (4) 校風づくり

「学力向上のための授業力向上と校風づくり ～主体的・対話的で深い学びの実現とスタンダードの定着について～」を研究主題として、今年度から2年計画でスタートした。「学校スタンダード」は平成28年度から取組、併せて「よくわかる厚沢部小学校」「教員ハンドブック」を作成し、教職員がスタンダードの定着に向けて、また、地域・保護者には、その理解と協力を得ながら、小学校6年間継続した一貫した指導を目指しています。

## 3 地域と共に歩む学校づくり（学校運営協議会）

「子どもたちはどのように育ってほしいか」、学校運営協議会において熟議し子ども像を設定。



## 4 おわりに

子どもたちにこれからの社会の担い手となる資質・能力を育成するために、入学からの6年間、組織マネジメントを基盤とした一貫した教育を組織的に進めたいと考えています。